

名古屋市南陽図書館での出前講座実施報告

「藤前干潟に生息する生き物を通して命のつながりを考えるきっかけとなる話をして欲しい」。

名古屋市南陽図書館から、名古屋自然保護官事務所以上への依頼が寄せられ、8月24日（水）、同図書館において、「みんなつながっている！藤前干潟の生きものたち」と題した出前講座を実施しました。

対象は、小学校低学年から中学年。実施日が夏休みの終盤であることから、担当スタッフは、夏休みの自由研究の課題となる要素も講座に盛り込み当日に望みました。



* 出前講座の様子

講座の内容は、藤前干潟の位置や成り立ちといった概略、渡り鳥をはじめ生き物の宝庫としての藤前干潟の魅力、日常の食べ物と干潟の関係を柱に、山・川・海のつながり、命の連鎖について解説していきました。

説明は、主にスライドを用いて行いましたが、随所随所に、シジミの浄化実験（生き物の持つ力を知ってもらうため）や、クイズ、藤前干潟で採取したクロベンケイガニやアシハラガニの観察、藤前干潟で撮影したチゴガニの動画鑑賞、さらに親指の指紋を使ってカニを描く図画工作、といったプログラムを織り交ぜ、1時間30分の講義を終えました。

実際に生きものを前にした時、そして生きものを見た後の図画工作でのこどもたちの表情は生き生きと

しており、今後も随所に体験型のプログラムを盛り込んだ出前講座を企画したいと考えています。



*スライドでは名古屋となじみの深い食べ物を使って日常生活と関係する干潟の役割を説明した



*親指の指紋で甲羅を作り描いたカニ

◆実施概要◆

実施日：平成23年8月24日（水）

場所：名古屋市南陽図書館（港区）

対象：小学校2年生～3年生（計10名保護者含む）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

（佐藤祐一、玉津佐知子）

◆出前講座のお問い合わせ・お申し込み先◆

名古屋自然保護官事務所（TEL：052-389-2877）